



新富小だより

令和8年
2月27日発行

《本年度の重点教育目標》 **認め合い 支え合い 学び合う子供の育成** No.11

～認め合い 支え合い 学び合う活動を通して 仲間との関係を深め 子供たちの人間性を高める～

感謝の言葉、口にしていますか？

旭川市立新富小学校 校長 工藤 真

早いもので、今年度も残りわずかとなりました。3月には卒業式、そして修了式を迎えます。子供たちは、一年間で心も体も大きく成長しました。その歩みを支えてくださった保護者の皆様に、まず心より感謝申し上げます。

今月、世界ではミラノ・コルティナオリンピックが開催されました。連日の報道の中で、私は競技の結果と同じくらい心に残るものがあります。それは、選手たちのインタビューで繰り返される「感謝」の言葉です。

メダルを獲得した選手も、惜しくも届かなかった選手も、「家族のおかげです。」「支えてくれたコーチや仲間感謝しています。」と語ります。世界の大舞台に立つ選手であっても、自分一人の力でここまで来たとは決して言いません。その姿に、胸を打たれた方も多いのではないのでしょうか。



子供たちの日常も同じです。毎朝、当たり前のように学校へ来ていますが、その背景には、朝食の準備や洗濯、健康管理、励ましの言葉など、数え切れないほど多くの家庭の支えがあります。また、地域の見守りの方々、交通指導をなさっている市民委員会の皆様、教職員、友達・・・多くの人の力によって、子供たちの学校生活は成り立っています。

しかし、それはあまりにも身近であるがゆえに、「当たり前」になりがちです。

昔、6年生を担当していたとき、この時期にある児童が、「卒業を前にして、今まで自分がどれだけ支えてもらっていたかに気づいた。」という文章を書いていました。みんなの前で取り上げ、卒業という節目が近く中で、自分の歩みを振り返り、周囲の存在に思いを向け始めることの大切さを説きました。これは、当時の6年生の大きな成長の姿へとつながり、とても立派な卒業式となりました。

卒業式や修了式は、単に区切りの日ではありません。一年間を振り返り、「できるようになったこと」と同時に、「支えてくれた人」を思い起こす機会でもあります。感謝の心は、人を謙虚にし、そして強くします。感謝できる人は、自分が誰かに支えられていることを知っているからこそ、今度は誰かを支えようとしています。

どうかこの時期、ご家庭でも「一年間で、どんな人に支えてもらったろう」「どんな“ありがとう”があったらろう。」と話題にしていただければ幸いです。そして、ぜひ保護者の皆様ご自身の言葉で、お子様に「ここまでよく頑張ったね。」と伝えていただきたいと思います。その一言は、子供にとって何よりの力になります。

「感謝の言葉を口にしていますか？」

この問いを、子供たちだけでなく、私たち大人も胸に刻みながら、温かな気持ちで今年度の締めくくりを迎えたいと思います。

★**ありがとう!**★

令和7年度 新富っ子成長の姿

ご多用のところ、本校の学校評価アンケートにご協力いただきました保護者の皆様、誠にありがとうございました。

本校では、「認め合い 支え合い 学び合う子どもの育成」を今年度の重点目標として教育活動を進めてまいりました。全項目の平均値は3.30で昨年度と同様の高評価をいただきましたが、この結果に安住することなく、いただいたご意見を次年度のより良い学校づくりに向けて、しっかりと生かしてまいります。また、今回寄せられた貴重なご意見やご要望は真摯に受け止め、すぐにできる事項は速やかに改善を行い、時間を要する課題については次年度も計画的に取り組んでまいります。

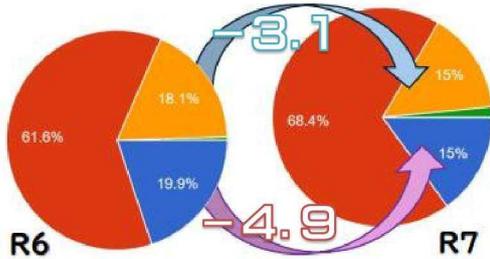
今後も保護者の皆様のご支援・ご協力を得ながら、子供たちの未来を切り拓くために、教職員一同全力で教育活動に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



年度の重点教育目標の実現状況

- 4 達成
- 3 概ね達成
- 2 やや不十分
- 1 不十分

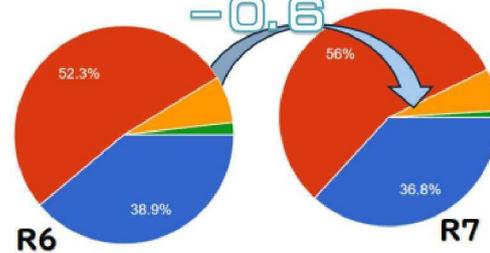
☆よく考え、積極的に取り組む子ども(「かしこく」:知)



今年度は、肯定的な評価「4 達成(19.9% → 15%)」、否定的な評価「2 やや不十分(18.1% → 15%)」ともに減少した。

昨年度と同様、保護者だけでなく、教職員や児童を含む3者が低評価を付けた項目となったことから、次年度に向けては、より実効性のある改善プランの策定が必須となった。

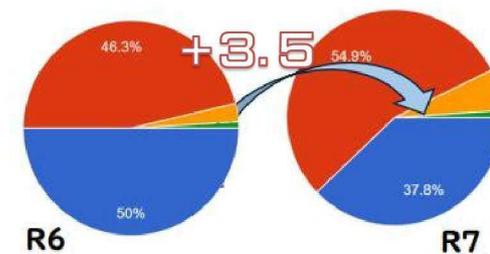
☆親切で明るい子ども(「なかよく」:徳)



今年度も、「4 達成」「3 概ね達成」が9割を占める高評価であり、否定的な評価(「1 不十分(2.0% → 1.0%)」「2 やや不十分(6.8% → 6.2%)」)も僅かに減少している。

R7重点教育目標に関連する項目であり、互いを認め合う心や思いやりをもって人と関わる力が順調に育っていることがうかがえる。

☆がんばりぬく健康な子ども(「たくましく」:体)



今年度も、肯定的な評価(「4 達成」「3 概ね達成」)が9割という高い水準で推移しているものの、「2 やや不十分(2.7% → 6.2%)」の項目は、前年度比で3.5%増とやや上昇している。

次年度も、健康への関心を高め、適切な運動習慣を確立するために、運動環境の整備と家庭との連携強化を一層進めていく必要がある。

現状では、児童の伝え合う力や家庭学習の定着に課題が見られます。学校では、学習の基盤となる資質・能力の一つである言語能力を育成し、人との関わりの中で伝え合う力を高めていきます。また、授業と家庭学習を有機的に結び付ける指導を行い、タブレット端末の持ち帰りを含めた家庭学習の充実を図ります。次年度も ICT 機器を効果的に活用し、自律的に学ぶ力を伸ばす取組を強化します。さらに、全ての児童が「わかった・できた」と実感できるように、全職員が日々の授業改善に努め、指導法の工夫改善を重ねながら、学習活動の充実に取り組めます。

児童の自己肯定感を高めるため、教育活動において傾聴・受容・共感を重視したカウンセリングマインドを基盤に置き、子供たちの頑張りをしっかり認め、励まし、丁寧に支援していきます。また、フレンド週間を通じた互いの信頼関係を深める取組の継続とともに今後も家庭・地域・学校の三者連携を一層強化し、子供たちを温かく見守り、育む環境づくりに努めます。次年度も、小さなサインを見逃さないよう注意深く児童を観察し、早期対応と情報共有を確実にかつ丁寧に行います。その上で、いじめを見逃さず、安心して学べる学校づくりを全校体制で推進します。

近年、運動を好む児童とそうでない児童との二極化が進んでいます。体育の授業では、縄跳びなどの体づくり運動を中心に据え、ポイントマラソンでは持久力向上を目指した走る運動に取り組むことで、体力向上に努めています。年間を通して、運動量の確保と段階的な指導を行い、一人ひとりが達成感を味わえるよう配慮しています。次年度も、体を動かす楽しさを実感できる取組や運動量を確保する授業等を継続し、体力向上に努めます。ご家庭と連携しながら、心身ともにたくましい新富っ子を育てていきます。

今月の新富っ子

2日(月)、中学校入学後の不安を軽減するために、明星中学校生徒会役員によるガイダンスが行われました。スライド等を使って分かりやすく説明してくれましたので、6年生もスムーズに中学校生活をスタートできそうです。



6日(金)、令和8年4月より本校へ入学予定のお子様とその保護者を迎え、「入学説明会」を実施しました。説明会では入学までにご家庭で準備してほしい学用品や入学までに身に付けてほしいこと等の説明をさせていただきました。

説明会と同時進行で、新1年生と現1年生の交流活動も行われました。

13日(金)、2年生の子供たちが昨年度招待されて遊んだ経験を活かし、1年生の子供たちを「あそび広場」に招待しました。緑日を思わせるような活気のある楽しい雰囲気、どの場所においても子供たちの最高の笑顔が見られました。



18(水)~20日(金)、26日(木)の日程で今年度最後の参観授業を行いました。お忙しい中、授業参観並びに学年・学級懇談会へ多くの保護者の方々にご出席をいただき、ありがとうございました。どの教室でも、この1年間の子供たちの成長をしっかりとご覧いただけたのではないのでしょうか。



3月の主な行事予定

- 2日(月) 朝の広場、評価業務【特別日課5時間】
- 3日(火) 評価業務【特別日課4時間】
- 4日(水) 新富広場(6年生を送る会)
- 6日(金) フッ化物洗口
- 11日(水) 卒業式全体練習
- 12日(木) 卒業式全体練習(5時間)
- 13日(金) 同窓会入会式、フッ化物洗口
- 16日(月) 卒業式総練習(5時間)
- 18日(火) 卒業式前日準備
- 4・5年生6時間
- 1~3・6年生5時間
- 19日(木) 第67回卒業式(給食なし)
- 20日(金) 春分の日
- 25日(水) 修了式・離任式
- 特別日課4時間(給食なし)
- 26日(木) 学年末及び学年始休業日(~4/6)